

令和4年度 農林水産関係試験研究事後評価結果（令和3年度終了課題）

大分県農林水産研究指導センター

【農業部門】

所属名	課題名	研究結果	評価結果
農業研究部	次世代型土壌水分センサーによる小ネギ栽培の「見える化」技術の構築	・土壌水分センサーを活用した最適な土壌水分の解明（普及カード） ・かん水ムラ軽減技術の確立（普及カード） ・緩効性肥料による増収、追肥作業の省力化につながる施肥体系の確立	・普及指導員による現地指導 ・次期試験研究計画に活用
	低コストな混合堆肥複合肥料の開発	・混合堆肥複合肥料の開発（普及カード） ・地力への効果検証 ・従来の化成肥料と同等の収量（水稲・カンショ）を確認（普及カード）	・普及指導員による現地指導
	「ペリーツ(大分6号)」における灰色かび病を主体とした防除体系の構築	・灰色かび病多発要因の解析、炭疽病に対する耐病性の確認 ・灰色かび病、炭疽病に有効な薬剤の探索、防除体系の構築 （普及カード、日本植物病理学会九州部会第72回講演会口頭発表、九州病害虫研究会報第68巻掲載予定）	・普及指導員による現地指導 ・次期試験研究計画に活用
	県オリジナルイチゴ品種「ペリーツ(大分6号)」のハダニ類を中心とした主要病害虫の防除体系確立	・ナミハダニの有効薬剤を選抜（普及カード） ・炭酸ガスくん蒸+ミヤコカブリダニにおける防除体系の構築（普及カード）	・普及指導員による現地指導 ・次期試験研究計画に活用
	イチゴ育種技術の改善と新品種候補の育成	・県間連携による品種育成 ・効率化技術を取り入れた差別化品種候補の育成	・次期試験研究計画に活用
	イモ類の産地拡大に向けた生産安定技術の確立	・高糖度カンショにおける省力的な育苗・採苗技術の確立 ・高糖度カンショにおける機械化体系の確率（普及カード） ・サトイモ全期間マルチ栽培の収量向上	・普及指導員による現地指導
	拡大するドリンク茶・碾茶需要に対応した茶生産技術の確立	・ドリンク茶の生育・摘採適期予測の簡易な判断手法の考案 ・ドリンク茶の炭疽病の効果的防除法の開発（普及カード） ・有機碾茶の安定生産技術の確立	・普及指導員による現地指導 ・次期試験研究計画に活用
農業研究部 果樹 グループ	「開花期加温栽培」による「不知火」、「あずみ」の高糖度果実安定生産技術の開発	・「開花期加温栽培」の開発 ・「不知火」の高糖度果実安定栽培技術の開発 ・「あずみ」の安定栽培技術の開発	・普及指導員による現地指導 ・次期試験研究計画に活用
	「おおいた早生」のリレー出荷を可能にする無加温栽培と樹上完熟栽培技術の開発	・「おおいた早生」の無加温栽培技術の開発 ・「おおいた早生」の樹上完熟栽培技術の開発	・普及指導員による現地指導 ・次期試験研究計画に活用
	カボス新系統導入による周年出荷安定	・カボス新系統の早期加温栽培での特性調査 ・カボス新系統の貯蔵条件の検討 ・カボス新系統の香りの評価	・普及指導員による現地指導 ・次期試験研究計画に活用
農業研究部 花き グループ	芽摘みの省力化によるキクの効率的生産体制の確立	・わき芽消失可能な薬剤の発見、その利用方法の確立 ・県内産地に適した洋マムの品種選定 ・シンクロナイト放射光による突然変異育種素材10系統の獲得	・普及指導員による現地指導 ・次期試験研究計画に活用
	スイートピーの年内収量向上対策と省力化品種の育成	・落蕾後のかん水管理技術の確立 ・生育の良いひげなし品種を3系統育成 ・オリジナル品種19系統のそれぞれから、落蕾しにくい個体を選抜	・普及指導員による現地指導 ・次期試験研究計画に活用

※ 農業研究部水田農業グループは該当がありません

※農業部門 12課題

【畜産部門】

所属名	課題名	研究結果	評価結果
畜産研究部	繊維を主体とした麦焼酎粕固形部（生へこ）の利用技術の確立	・乳酸菌サイマスターAC2倍量添加で2ヶ月程度の保存性を確認。 ・乳用牛が好んでたべる傾向、肉用牛にもおおいに慣れることで飼料給与は可能であることを確認。	・普及指導員による現地指導
	LED光線管理による効率的豚人工授精法の確立	・開放型豚舎でのLED照明環境下で、人工授精回数と精子濃度の削減が可能であることを確認。	・普及指導員による現地指導

※畜産部門 2課題

【林業部門】

所属名	課題名	研究結果	評価結果
林業研究部	県産スギ大径材の有効利用技術の開発 —新たな製材方法の開発と高付加価値化—	・9丁取り正角材の乾燥方法の検討及び材料強度の検証 ・4丁取り正角材の乾燥方法の検討 ・薬剤（発色剤等）の効果的注入方法の検証及び抜け節の簡易補修技術の実証	・次期試験研究計画に活用 ・ ・ ・公社等への技術移転
	温暖化に対応した乾シイタケ栽培技術の開発	・1年起こし栽培技術の検討 ・単収向上のための打木操作技術の確立（普及カード）	・普及指導員による現地指導
林業研究部 きのこ グループ	乾シイタケ機能性成分増加技術の確立	・紫外線照射資材の検討 ・栄養機能性食品の開発 ・機能性成分の探索	・生産原課・室による事業化

※林業部門 3課題

【水産部門】

所属名	課題名	研究結果	評価結果
水産研究部 北部水産 グループ	主要河川におけるアユ資源の有効利用手法の開発	・主要河川におけるアユ資源の効果的な利用・増殖手法を検討 ・大分川、大野川、山国川漁協にアユ資源の維持増大策を提言 （研究Now!に掲載）	・次期試験研究計画に活用 ・研究結果を参考に、漁協の事業活動等に反映

※ 水産研究部は該当がありません

※水産部門 1課題

（合計 18課題）